

中間評価結果（平成19、20年度採択）

番号	研究課題名	研究代表者	評価
20-5	緻密でよく曲がるセメント系材料を用いた補修・補強工法	名古屋大学 教授 中村 光	A
<p>< 研究の概要 > 優れた「力学性能」,「耐久性」, および「施工性」を有した緻密でよく曲がる” 超高強度ひずみ硬化型セメント系複合材料 (UHP-SHCC)” を用いたコンクリート構造物の補修・補強工法の開発・実用化を目指す。</p> <p>< 研究継続の妥当性評価 > 研究の進捗は順調であることから、現行のとおり研究を推進するべきと判断する。なお、予定している実証試験の結果から、補修補強工法としての一般化および耐久性評価法の確立に至る方法論や手順について、実証研究と並行して検討を行い成果への道筋を早期に明らかにすることが必要である。</p> <p>< 特記事項（今後の研究に対する意見・指摘事項等） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 着実に研究が進められており高い成果も期待できることから、このペースで研究を推進していただきたい。 ・ 他の同種のセメンテーション材料等の開発状況について留意しながら研究を進めていただきたい。 			